

第3回定期大会を開催！

組織拡大をもって民主化闘争完遂の道筋を明確にし、安全で社会に信頼されるJR東日本を築こう！

JRE 本部は7月11日、五反田文化センターにおいて「第3回定期大会」を開催した。大会議長には新潟地本の渡辺勝代議員を選出し、提起された2015年度運動方針などの各議案、大会スローガン、大会宣言は満場一致で承認され、成功裡に終了した。

冒頭、あいさつに立った菅野委員長は、新年度に向けてさらなる運動の発展を期するため、「健全な企業に健全な労働組合を残すための闘いを完遂しよう」と訴えた。



菅野執行委員長代表挨拶



JR連合 河村事務局長



来賓のJR連合 河村新事務局長からは、安全問題については福知山線、羽越線脱線事故から10年となる中で、事故を風化させない取り組みと、JR連合の安全指針を基にしながら、「共に安全な鉄道を創造していこう」と訴えた。さらに組織問題については「歴史があって今がある。民主化闘争勝利の為に組織拡大に努めることを期待する」と挨拶をうけた。

大会では12名の代議員発言があり、各地本におけるこの間の取り組みと、安全問題、業務関連についての取り組み強化を訴えるとともに、組織拡大を目指した運動の展開を全体で確認するものとなった。活発な意見によって進められた大会は、国井事務局長の総括答弁の後、補強された2015年度運動方針が採択され、最後は委員長の団結ガンバローで閉会した。

